砂糖類の国内需給

調査情報部

1．需給見通し

農林水産省は、「砂糖及びでん粉の価格調整に関する法律」（昭和40年法律第109号）により、四半期ごとに砂糖および異性化糖の需給見通しを公表している。令和５年３月に「令和４砂糖年度における砂糖及び異性化糖の需給見通し（第３回）」を公表した。

令和４砂糖年度（10月～翌9月）の見通し

【砂糖】

総消費量：179万5000トン（前年度比0.8％増）

総供給量：177万3000トン（同1.2％増）

【加糖調製品】

消費量および供給量：42万4000トン（同6.4％減）

【異性化糖】

消費量および供給量：77万8000トン（同2.4％増）

（1）砂糖の消費量

令和４砂糖年度（10月～翌９月）の砂糖の消費量は、179万5000トン（前年度比0.8％増）と見通している（表１）。内訳を見ると、引き続き物価高の影響などは見込まれるものの、直近の消費量は前年同期を上回って推移するとともに、インバウンド需要の増加など人流増に伴う経済活動の回復が想定されることから、分みつ糖の消費量は176万トン（同0.8％増）と見通している。含みつ糖の消費量は近年の消費動向などを勘案し、３万5000トン（同2.9％増）と見通している。

表１　令和４砂糖年度における砂糖の需給見通し

（単位：千トン）

			令和３砂糖年度（実績）	令和４砂糖年度				
				10月－12月（実績）	1月－３月（実績見込み）	4月－６月（見通し）	7月－９月（見通し）	合　計
消費量	分　み　つ　糖		1,746	458.8	404.9	451.2	445.1	1,760
	含　み　つ　糖		34	7.0	11.5	8.8	7.5	35
	合　　計		1,780	465.8	416.4	460.0	452.6	1,795
供給量	国内産糖	分みつ糖	783	371.2	317.0	5.8	－	694
		含みつ糖	9	1.2	7.0	1.1	－	9
		小計	792	372.4	324.0	6.9	－	703
	輸入糖	分みつ糖	953	295.5	153.0	319.6	294.1	1,062
		含みつ糖	7	1.3	3.1	1.9	0.9	7
		小計	960	296.8	156.1	321.5	295.0	1,069
	合計	分みつ糖	1,736	666.7	470.0	325.4	294.1	1,756
		含みつ糖	16	2.5	10.1	3.0	0.9	16
		小計	1,752	669.2	480.1	328.4	295.0	1,773
期末在庫			377	577.1	612.3	480.7	323.1	323

資料：農林水産省「令和４砂糖年度における砂糖及び異性化糖の需給見通し（第３回）」
注１：分みつ糖は精糖ベースの数量、含みつ糖は製品ベースの数量である。
注２：輸入糖の分みつ糖供給量は、機構売買数量である。

（2）砂糖の供給量

令和４砂糖年度の砂糖の供給量は、177万3000トン（前年度比1.2%増）と見通している。内訳を見ると、分みつ糖の供給量は175万6000トン（同1.2%増）、含みつ糖は１万6000トン（前年度同）と見通している。国内産糖（分みつ糖）の供給量は、てん菜糖については、てん菜の作付面積が前年産と比べ4.0%（約2327ヘクタール）減少した。作柄については８月の降水量が平年よりもかなり多かった影響などにより、１ヘクタール当たりの収量および根中糖分の低下が見られることから、産糖量は56万2000トン（前年産比12.2%減）、供給量は56万1000トン（精製糖換算〈以下同じ〉。前年度比12.1%減）と見通している。甘しゃ糖については、サトウキビの収穫面積が前年産に比べ0.5%（約113ヘクタール）増加した。作柄は、一部の島において台風11号および12号の被害、春先の長雨、梅雨明け後の干ばつの影響がみられたことから、産糖量は13万9000トン（前年産比7.9%減）、供給量は13万3000トン（前年度比8.0%減）と見通している。

（3）加糖調製品の需給

令和４砂糖年度の加糖調製品の消費量は、物価高の影響などにより、42万4000トン（前年度比6.4%減）と見通している（表２）。また、供給量は、消費量に見合った量が供給されると見通している。

表２　令和４砂糖年度における加糖調製品の需給見通し

（単位：千トン）

	令和３砂糖年度（実績）	令和４砂糖年度				
		10月－12月（実績）	1月－3月（実績見込み）	4月－6月（見通し）	7月－9月（見通し）	合　計
消費量	453	104.3	107.2	100.8	111.9	424
供給量	453	104.3	107.2	100.8	111.9	424

資料：農林水産省「令和４砂糖年度における砂糖及び異性化糖の需給見通し（第３回）」
注１：改正糖価調整法（平成30年施行）に基づき調整金の対象とされた加糖調製品を対象としている。
注２：消費量は対象となる加糖調製品の輸入量（財務省貿易統計より算出）を踏まえて見通しており、供給量は消費量に見合った量が供給されるものとして見通している。
注３：令和４砂糖年度の消費量は、令和３砂糖年度の輸入実績を踏まえて見通している。

（4）異性化糖の需給

令和４砂糖年度の異性化糖の消費量は、新型コロナウイルス感染症（COVID-19）が５類感染症に引き下げ予定であり、人流の増加による需要の回復が見込まれ、近年の消費動向を踏まえ、77万8000トン（前年度比2.4%増）と見通している（表３）。また、供給量は、消費量に見合った量が供給されると見通している。

表３　令和４砂糖年度における異性化糖の需給見通し

（単位：千トン）

	令和３砂糖年度（実績）	令和４砂糖年度				
		10月－12月（実績）	1月－3月（実績見込み）	4月－6月（見通し）	7月－9月（見通し）	合　計
消費量	760	167.8	172.9	227.0	210.3	778
供給量	760	167.8	172.9	227.0	210.3	778

資料：農林水産省「令和４砂糖年度における砂糖及び異性化糖の需給見通し（第３回）」
注：標準異性化糖（果糖55%ものの固形ベース）に換算した数量である。

2．輸入動向

【粗糖の輸入動向】

２月の輸入量は前年同月から大幅に増加

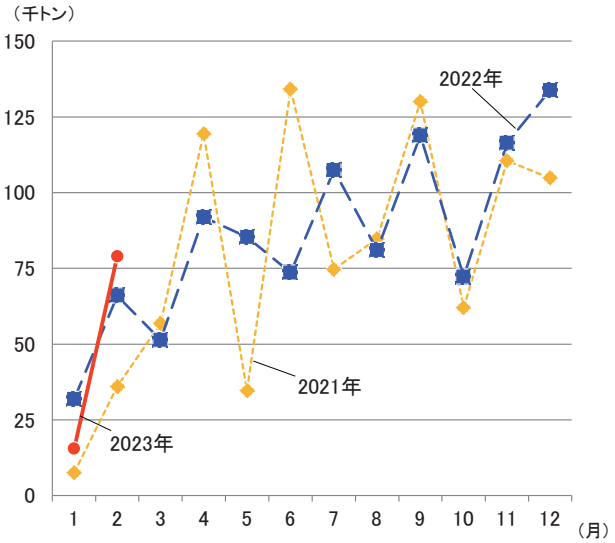
財務省「貿易統計」によると、2023年２月の甘しゃ糖・分みつ糖（HSコード 1701.14-110）および甘しゃ糖・その他（同1701.14-200の豪州）の輸入量は、７万8844トン（前年同月比19.5%増、前月比5.1倍）であった（図１）。

輸入先は甘しゃ糖・分みつ糖については米国、甘しゃ糖・その他については豪州で、国・地域別の輸入量は次の通りであった（図２）。

米国　　21トン
（前年同月比10.5%増、前月輸入実績なし）

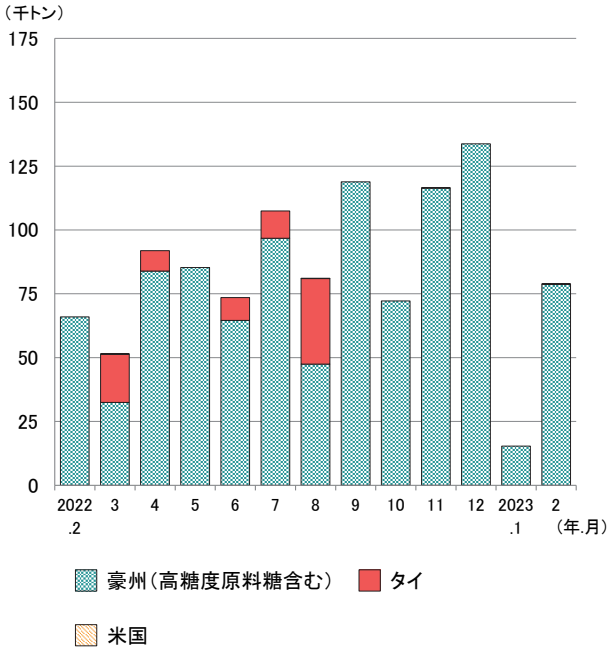
豪州　　７万8823トン
（同19.5%増、前月比5.1倍）

図１　粗糖の輸入量の推移



資料：財務省「貿易統計」
注：HSコード1701.14-110、1701.14-200（豪州のみ）

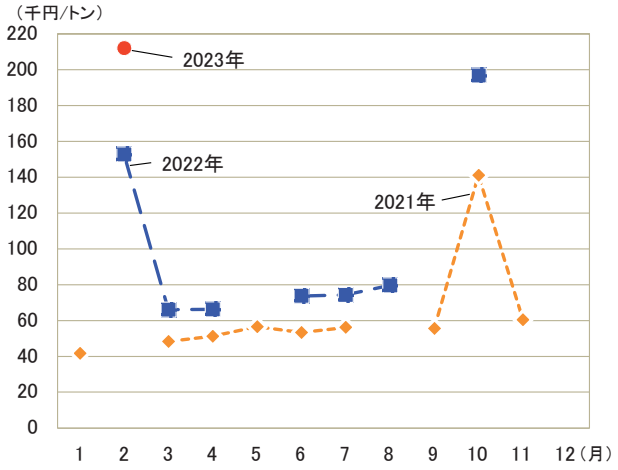
図２　粗糖の国・地域別輸入量の推移



資料：財務省「貿易統計」
注：HSコード1701.14-110、1701.14-200（豪州のみ）

2023年２月の甘しゃ糖・分みつ糖の１トン当たりの輸入価格は、21万2143円（前年同月比38.9%高、前月輸入実績なし）であった（図３）。

図３　粗糖（HSコード1701.14-110）の輸入価格の推移



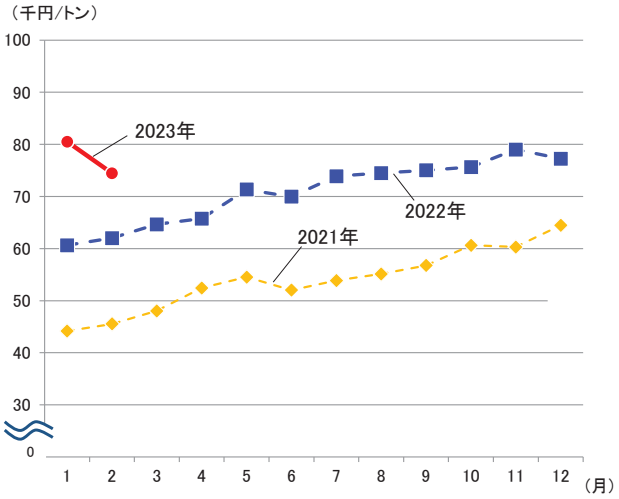
資料：財務省「貿易統計」
注：2021年２月、８月、12月、2022年１月、５月、９月、11月、12月および2023年１月は輸入実績なし。

国・地域別の１トン当たりの輸入価格は、次の通りであった。

米国　21万2143円
（前年同月および前月輸入実績なし）

また、同月における甘しゃ糖・その他の豪州からの高糖度原料糖の１トン当たりの輸入価格は、７万4483円（前年同月比32.8%高、前月比4.3%高）であった（図４）。

図４　高糖度原料糖（HSコード1701.14-200の豪州）の輸入価格の推移



資料：財務省「貿易統計」

【含みつ糖の輸入動向】
２月の輸入量は前年同月から大幅に増加

財務省「貿易統計」によると、2023年２月の含みつ糖（HSコード1701.13-000、1701.14-190）の輸入量は、654トン（前年同月比76.3%増、前月比60.3%増）であった（図５）。

輸入先国はタイ、中国、ボリビアおよびフィリピンの４カ国で、国･地域別の輸入量は次の通りであった（図６）。

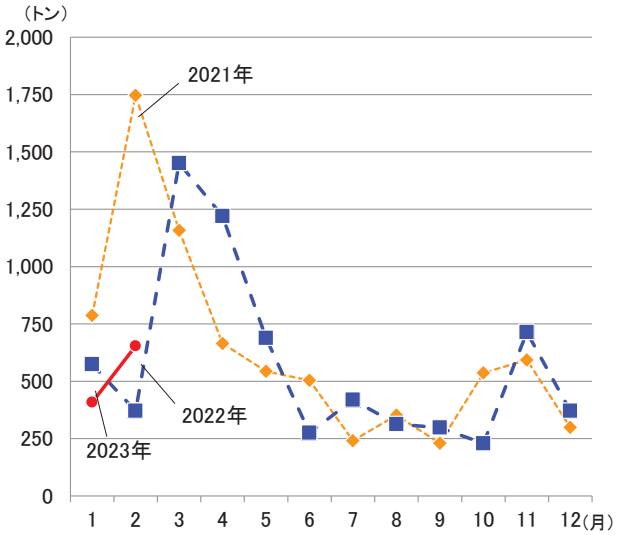
タイ　393トン
（前年同月比3.0倍、前月比5.5倍）

中国　172トン
（同50.9%増、同10.3%増）

ボリビア　76トン
（同26.2%減、同26.2%減）

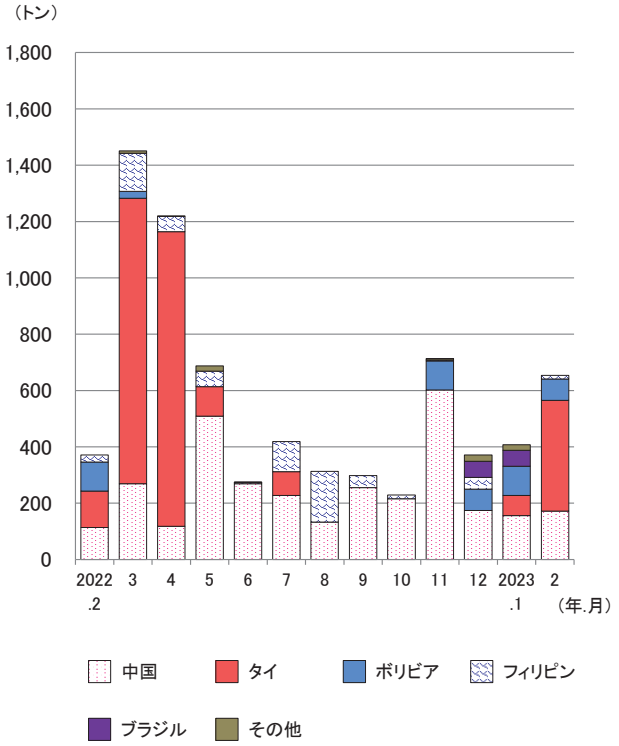
フィリピン　13トン
（同48.0%減、前月輸入実績なし）

図５　含みつ糖の輸入量の推移



資料：財務省「貿易統計」
注：HSコード1701.13-000、1701.14-190

図６　含みつ糖の国・地域別輸入量の推移



資料：財務省「貿易統計」
注：HSコード1701.13-000、1701.14-190

2023年２月の１トン当たりの輸入価格は、15万1916円（前年同月比6.9%高、前月比14.5%安）であった（図７）。

国・地域別の１トン当たりの輸入価格は、次の通りであった。

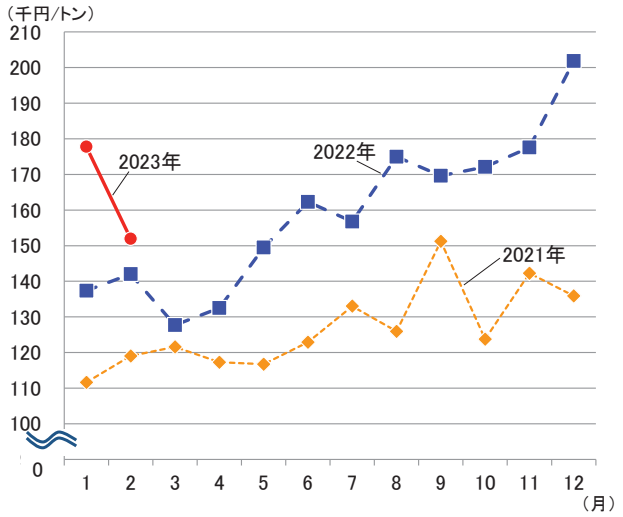
タイ　　13万8107円
（前年同月比6.5%高、前月比6.6%安）

中国　　15万4198円
（同8.0%高、同1.8%高）

ボリビア　　18万4145円
（同34.1%高、同4.1%高）

フィリピン　　33万5077円
（同50.9%高、前月輸入実績なし）

図７　含みつ糖の輸入価格の推移



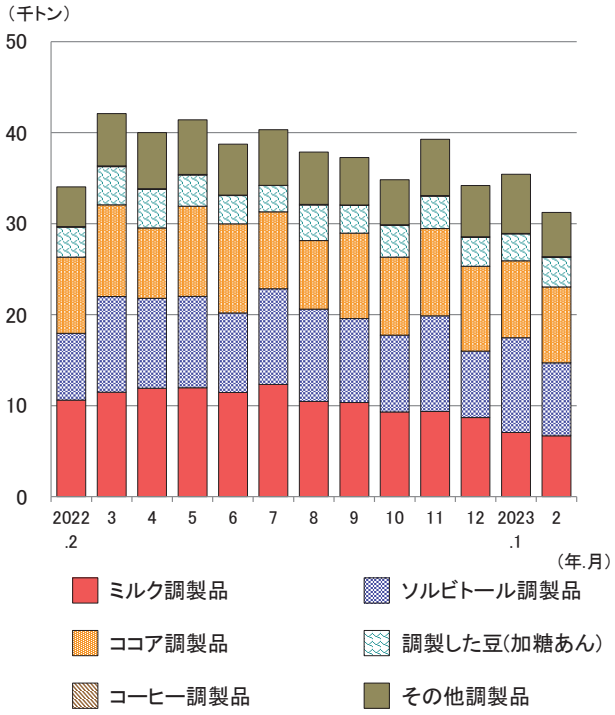
資料：財務省「貿易統計」
注：HSコード1701.13-000、1701.14-190

【加糖調製品の輸入動向】
２月の加糖調製品の輸入量は前年同月からかなりの程度減少

財務省「貿易統計」によると、2023年２月の加糖調製品の輸入量は、３万1225トン（前年同月比8.3%減、前月比11.8%減）であった（図８）。

品目別の輸入量は、表４の通りであった。

図８　加糖調製品の品目別輸入数量の推移



資料：財務省「貿易統計」
注：各品目のHSコードは、次の通り。
ココア調製品：1806.10-110、1806.10-190、1806.20-112、1806.20-113、1806.20-121、1806.20-129、1806.32-212、1806.32-213、1806.90-212、1806.90-213
コーヒー調製品：2101.11-110、2101.11-190、2101.12-111、2101.12-112、2101.12-246
調製した豆（加糖あん）：2005.40-191、2005.40-199、2005.51-191、2005.51-199
ミルク調製品：1901.90-219、2106.90-283、2106.90-284
ソルビトール調製品：2106.90-510
その他調製品：2008.99.218、2106.90-590、2101.20-246、2106.90-252、2106.90-253、2106.90-281、2106.90-282、2106.10-219

表４　加糖調製品 品目別輸入量（２月）

（単位：トン）

区分	輸入量	前年同月比（増減比）	前月比（増減比）
ミルク調製品	6,684	▲ 37.1%	▲ 5.2%
ソルビトール調製品	8,012	9.3%	▲ 23.0%
ココア調製品	8,353	▲ 0.3%	▲ 1.2%
調製した豆（加糖あん）	3,249	▲ 1.1%	9.5%
コーヒー調製品	65	24.7%	28.5%
その他調製品	4,861	11.1%	▲ 25.1%
合計	31,225	▲ 8.3%	▲ 11.8%

資料：財務省「貿易統計」
注：端数処理の関係で計と内訳が一致しない場合がある。

3．異性化糖の移出動向

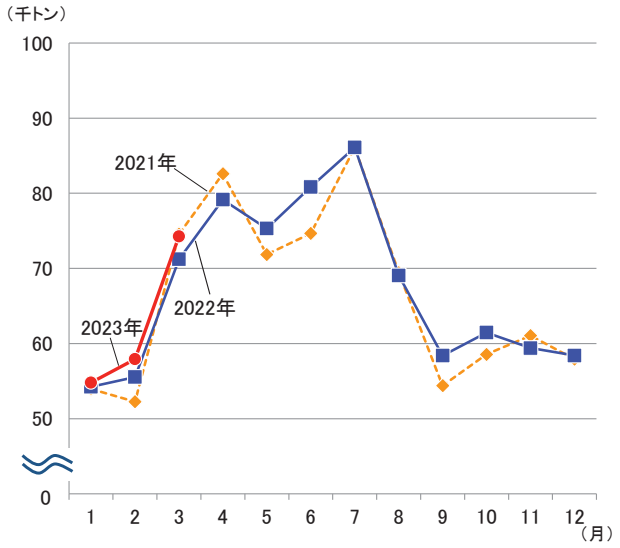
3月の移出量は前年同月からやや増加

2023年３月の異性化糖の移出量は、７万4260トン（前年同月比4.3%増、前月比28.2%増）であった（図９）。

同月の規格別の移出量は、次の通りであった（図10）。

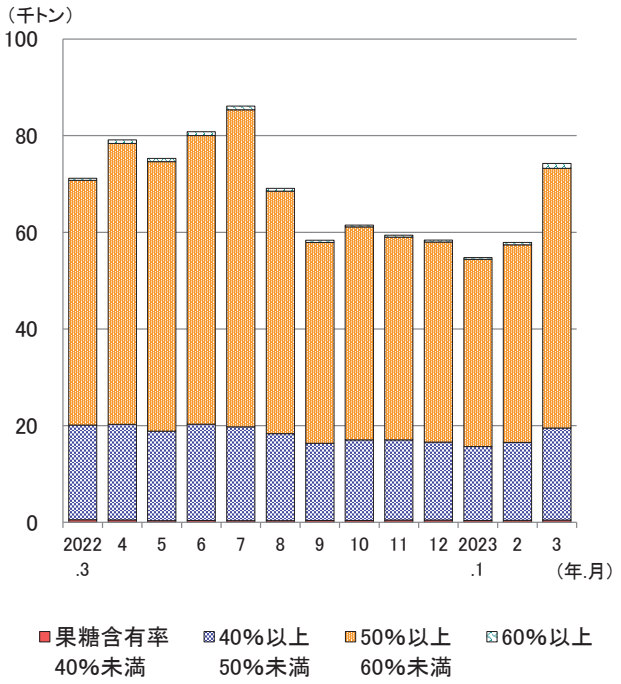
果糖含有率40%未満　　468トン
（前年同月比10.8%減、前月比16.6%増）
同40%以上50%未満　　1万9026トン
（同2.9%減、同17.8%増）
同50%以上60%未満　　5万3750トン
（同6.1%増、同31.5%増）
同60%以上　　1016トン
（同2.2倍、同2.1倍）

図９　異性化糖の移出量の推移



資料：農畜産業振興機構調べ

図10　異性化糖の種類別移出量の推移



資料：農畜産業振興機構調べ

4．価格動向

【市場価格】

砂糖、異性化糖ともに前月と同水準で推移

３月の糖種別･地域別の砂糖価格（日経相場）は、次の通りであった。

上白糖（大袋）
東京　　1キログラム当たり228円
大阪　　同228円
名古屋　　同230円
関門　　同232円

上白糖（小袋）
東京　　1キログラム当たり241円
大阪　　同242～243円

本グラニュー糖（大袋）
東京　　1キログラム当たり233円
大阪　　同233円

名古屋　　同235円

ビート・グラニュー糖（大袋）
東京　　1キログラム当たり228円
大阪　　同228円
名古屋　　同228円

３月の異性化糖の価格（日経相場、大口需要家向け価格、東京、タンクローリーもの、JAS規格品、水分25%）は、次の通りであった。

果糖分42%もの
1キログラム当たり166～167円
果糖分55%もの　　同172～173円

【小売価格】

３月の上白糖小袋の地域間の価格差は最大で47.6円

KSP-POSデータ（全国501店舗）(注1)によると、スーパーにおける３月の上白糖小袋（１キログラム）の平均小売価格は、222.4円（前年同月差19.4円高、前月差1.8円高）であった。最も高かったのは中国・四国で、最も安かった首都圏との価格差は47.6円であった。

同月の地域別(注2)の平均小売価格は、次の通りであった（表５）。

（注１）今号より、原典がマーチャンダイジング・オンRDSPOS（全国1243店舗）から、KSP-POSデータ（全国501店舗）に変更となった。
（注２）地域の内訳は、次の通りである（以下同じ）。
関東など：茨城県、栃木県、群馬県、長野県、山梨県、静岡県
首都圏：東京都、千葉県、埼玉県、神奈川県
中部：新潟県、富山県、石川県、福井県、岐阜県、三重県、愛知県
関西：大阪府、兵庫県、京都府、滋賀県、和歌山県、奈良県

表５　上白糖の地域別平均小売価格（３月）

（単位：円/kg）

地域	平均価格	前年同月価格差	前月価格差
北海道	232.3	12.8	10.1
東北	237.2	13.3	▲ 0.8
関東など	202.7	23.0	6.1
首都圏	200.9	13.4	▲ 0.5
中部	219.1	26.7	0.4
関西	219.4	18.3	1.2
中国・四国	248.5	22.1	2.4
九州・沖縄	223.7	23.6	1.0
全平均	222.4	19.4	1.8

資料：農畜産業振興機構調べ（原典：KSP-POSデータ〈全国501店舗〉）
注１：価格は、消費税抜きの価格である。
注２：平均価格は、店舗別商品別の最高価格の単純平均である。
注３：前年同月価格差および前月価格差は、KSP-POSデータ内における価格差である。

３月のグラニュー糖小袋の地域間の価格差は最大で81.8円

KSP-POSデータ（全国501店舗）によると、スーパーにおける３月のグラニュー糖小袋（１キログラム）の平均小売価格は、274.5円（前年同月差18.4円高、前月差0.8円高）であった。最も高かったのは東北で、最も安かった北海道との価格差は81.8円であった。

同月の地域別の平均小売価格は、次の通りであった（表６）。

表６　グラニュー糖の地域別平均小売価格（３月）

（単位：円/kg）

地域	平均価格	前年同月価格差	前月価格差
北海道	233.3	10.3	4.6
東北	315.1	26.1	2.2
関東など	276.5	13.6	0.0
首都圏	284.5	14.0	1.0
中部	282.2	26.8	1.8
関西	252.6	11.2	▲ 0.4
中国・四国	290.7	22.5	0.4
九州・沖縄	257.3	21.9	▲ 2.3
全平均	274.5	18.4	0.8

資料：農畜産業振興機構調べ（原典：KSP-POSデータ〈全国501店舗〉）
注１：価格は、消費税抜きの価格である。
注２：平均価格は、店舗別商品別の最高価格の単純平均である。
注３：前年同月価格差および前月価格差は、KSP-POSデータ内における価格差である。

３月の三温糖小袋の地域間の価格差は最大で55.2円

KSP-POSデータ（全国501店舗）によると、スーパーにおける３月の三温糖小袋（１キログラム）の平均小売価格は、260.8円（前年同月差19.6円高、前月差0.2円安）であった。最も高かったのは中国・四国で、最も安かった九州・沖縄との価格差は55.2円であった。

同月の地域別の平均小売価格は、次の通りであった（表７）。

表７　三温糖の地域別平均小売価格（３月）

（単位：円/kg）

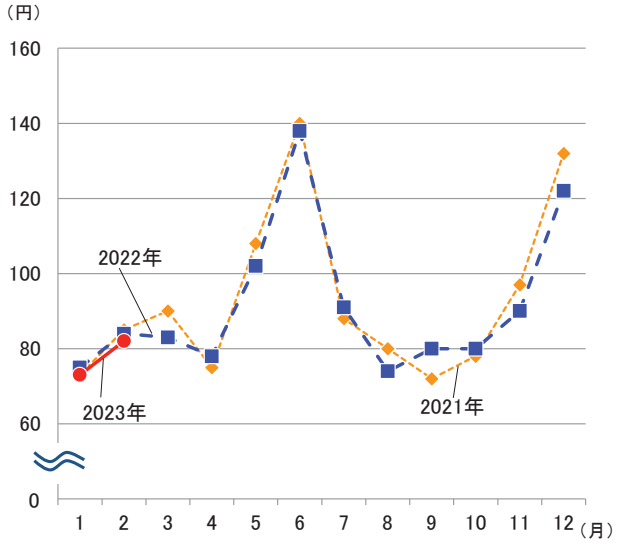
地域	平均価格	前年同月価格差	前月価格差
北海道	252.5	4.3	▲ 8.3
東北	286.2	13.7	▲ 1.8
関東など	240.9	18.3	0.5
首都圏	246.2	17.3	1.3
中部	268.1	26.3	1.6
関西	251.1	14.9	▲ 1.1
中国・四国	293.1	30.1	1.0
九州・沖縄	237.9	22.1	0.1
全平均	260.8	19.6	▲ 0.2

資料：農畜産業振興機構調べ（原典：KSP-POSデータ〈全国501店舗〉）
注１：価格は、消費税抜きの価格である。
注２：平均価格は、店舗別商品別の最高価格の単純平均である。
注３：前年同月価格差および前月価格差は、KSP-POSデータ内における価格差である。

【購入金額および購入数量】
２月の砂糖の支出金額は前年同月からわずかに下落

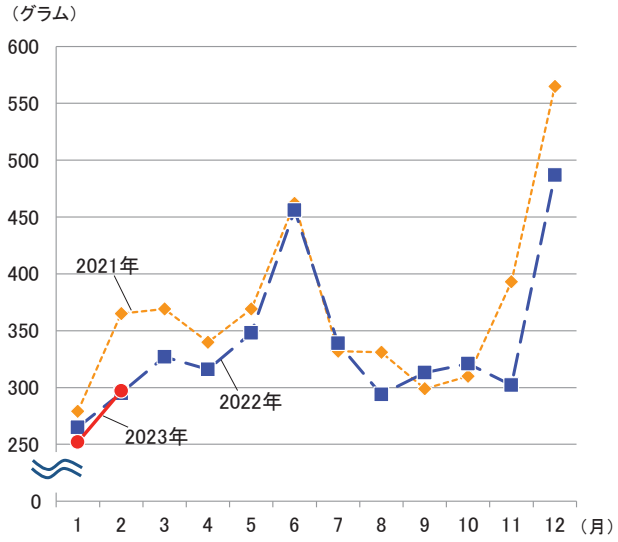
総務省「家計調査」によると、2023年２月における100世帯当たりの砂糖の購入頻度は32、１世帯（二人以上）当たりの支出金額は82円（前年同月比2.4％安、前月比12.3％高）であった（図11）。また、同月の１世帯当たりの砂糖の購入数量は、297グラム（同0.7%増、同17.9%増）であった（図12）。

図11　１世帯当たりの砂糖に係る支出額の推移



資料：総務省「家計調査」

図12　１世帯当たりの砂糖の購入数量の推移



資料：総務省「家計調査」